

こ が  
**古河**



目次

- 2 グレードアップ事業
- 4 健康づくり協力員
- 6 地球温暖化防止月間
- 8 水道事業決算
- 10 学校づくりチャレンジ事業
- 11 有料広告
- 12 秋のイベントカメラルポ

2010

12

DECEMBER

# 市民や地域商業者に好評です 古河市スーパープレミアム商品券



市では、グレードアップ事業の一環として、20%のプレミアムを付けた市民向けの商品券、古河市スーパープレミアム商品券を11月に販売しました。これは、消費喚起に伴う地域商業の活性化を目的とし、額面発行総額6億円分と大きく引き上げており、購入上限も1人当たり10万円までと拡大しました。

【問】 総和庁舎(本庁)  
商工政策課 ☎92-3111

グレードアップ事業

## ■発行の概要

- ◇使用期間：11月1日(月)～平成23年1月16日(日)
- ◇販売対象者：18歳以上の古河市民(平成4年4月1日以前生まれ)
- ◇発行部数：  
1万円セット・4万部  
5千円セット・2万部
- ◇販売総額：5億円
- ◇発行総額：6億円(うちプレミアム分1億円)

## ■商品券の販売状況

応募状況を集計したところ、約6億1800万円分の購入希望があり、販売予定総額の5億円に対する超過額は約1億1800万円(販売額比23.6%超)、応募総数は6,086世帯もありました。

購入希望額が販売予定額を上回ったことから按分割り当てとし、11月1日から7日までの引き換えにより約6億円分の商品券が市内に流通しています。

なお、大型店の使用に一部制限を設け、地元中小店舗への誘導に配慮しています。

## ■商品券の種類

スーパープレミアム商品券には以下の4種類の商品券が冊子の中に入っています。

### ★1000円券(共通券)



### ★1000円券



### ★500円券



### ★100円券(5千円セットのみ)



## ■商品券使用方法

○商品券は「取扱店」のポスターが店頭にある店舗(事業所)にて使用することができます。取扱店舗は随時募集しているため、一覧に掲載されていない店舗(事業所)であっても、店頭でポスターの掲示があれば商品券を使用することができます。○使用期間を過ぎると商品券は無効となり、使用できなくなります。また、使用期間中、使用期間終了後にかかわらず未使用商品券の払い戻しはできません。



# 観光自転車「コガッツ」無料貸出中



## 関東ド・マンナカだからできる関東4県周遊の旅

市では、グレードアップ事業で徒歩で回ることができない市内外のさまざまな観光名所を巡ってもらう目的で無料の貸し出し自転車「コガッツ」を7月から実施しています。今回新たなルート「関東4県周遊の旅」を設定しました。環境にやさしい自転車を利用して健康増進も図りながら、周辺地域の広大な自然を満喫してください。

【問】 総和庁舎(本庁)  
観光物産課 ☎92-3111

### 【あらためて地域を再発見しました】



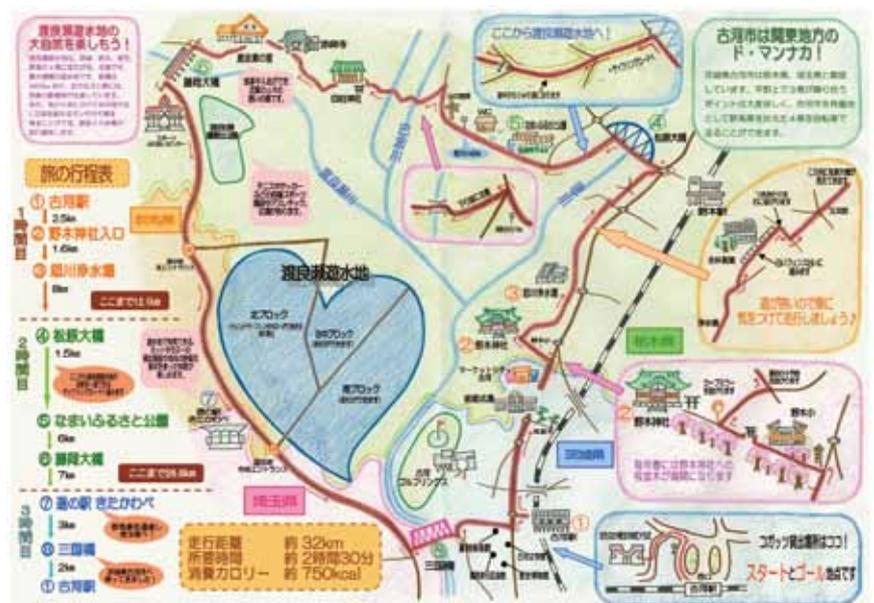
井上由実さん  
(東本町)

コガッツを使い市内外各所を巡ってみると、今まで知らなかった発見をすることも多く、楽しい時間を過ごすことができました。自転車は気分もさわやかになり気持ちいいですね。

### ■自転車周遊コース概要

ルートマップ配布場所	観光案内所(古河駅構内)、市役所各庁舎
コース内容	「渡良瀬遊水地」をはじめ「なまいふるさと公園」や「道の駅・きたかわべ」といった観光スポットを自転車で巡りながら茨城、栃木、群馬、埼玉の関東4県を一気に走破します。
コース走行距離	約32キロメートル
コース所要時間	約2時間30分
貸し出し場所・時間	JR古河駅西口・午前9時から午後4時
貸し出し条件・料金	中学生以上・無料

### ■ルートマップ



# “皆さんの健康をサポート” 健康づくり協力員が活躍しています



市が実施する保健活動は、自治会または行政区ごとに選出された健康づくり協力員の協力があって成り立っています。

市民の健康づくりのサポートをする協力員の活動内容等を紹介します。

【問】古河福祉の森会館  
健康推進課 ☎48-6883

## ■健康づくり協力員

皆さんの健康保持・増進を図るため、市の実施する保健事業が円滑で効率的に行われるよう、古河地区41人、総和地区47人、三和地区43人の合計131人の健康づくり協力員がいます。健康づくり協力員は自治会や行政区より推薦された人が市長より委嘱を受け、皆さんと行政のパイプ役となって地域で活動しています。

## ■活動内容

健康づくり協力員の主な活動は次のようなものがあります。

### ○定例会

各地区において年8回実施しています。

行政との連携、協力員さん同士の交流を図るとともに、資質の向上を目指し、講演会や視察研修なども、積極的に行っています。

## ■定例会(年間スケジュール)

時 期	内 容
4月	総会
5月	健康推進課の事業、こんにちは赤ちゃん訪問
6月	手作りおやつ作り、訪問の振り返り
7月	絵本のすすめ講演会
9月	視察研修「とちぎ福祉プラザ(点字図書館)」
10月	救急蘇生法講習会
11月	手作りおもちゃ作り
1月	調理実習
2月	シルバーリハビリ体操、1年間の振り返り
3月	合同役員会



こんにちは赤ちゃん訪問

### ○講演会

今年度は「親子で楽しむ絵本の世界」という演題で行なわれました。

命の大切さ、自然の雄大・神秘さ、生活することの喜びなど、絵本を読むことで想像体験ができる。そういった絵本の持つ力や、すばらしさを学びました。

### ○母子保健

(1)乳児訪問「こんにちは赤ちゃん訪問」

生後2～3カ月の赤ちゃんのいるご家庭を訪問し、3カ月児健診の案内や子育て情報の紹介を行います。

協力員の訪問により、地域の顔見知りを1人でも多くして安心して子育てしやすい地域づくりに努めます。

(2)乳幼児健診時のお手伝い

身体測定値の記録、絵本の読み聞かせのすすめ、などを行います。

(3)母子保健事業の広報活動

乳幼児健診、相談、離乳食教室、マタニティスクールなどの紹介を行います。



毎月の乳幼児健診では身体測定記録を手伝ってくれています

### ○成人保健

成人保健事業の広報活動

・特定健康診査や各種がん検診の紹介と受診の勧めを行います。

・成人健康相談やこころの健康相談、ヘルストレーニング事業などの紹介を行います。

### ■協力員さんの声

【健康で安心して住める地域づくりに貢献していきたい】

市で実施しているこんにちは赤ちゃん訪問事業として、私たち健康づくり協力員も訪問を実施しています。

訪問に行く前には定例会の中で研修を受けてから、実際に家庭訪問を実施しました。初めての訪問では緊張しましたが、お母さんが楽しんで子育てをしている様子や、赤ちゃんの笑顔を見ることができ、ほっとしました。出生後、早い時点から地域の身近な相談相手としてかかわることにより、私たちの活動が地域の子育て支援に太く結びついていることを、改めて実感しました。

今後も、安心して子育てができるような地域づくりを目指して協力員として活動していきたいと思います。



10月には救急蘇生法講習会で初期救急の大切さを学びました



# 地球温暖化防止のために 一人ひとりができることから始めよう



～12月は地球温暖化防止月間です～

12月は地球温暖化防止のために、国民、事業者、行政が一体となって普及啓発事業を始めとするさまざまな取り組みを行う「地球温暖化防止月間」です。

私たちのまち“古河”でも、地球温暖化防止を目的にさまざまな取り組みを進めています。

それらの取り組みの一部を身近な実践事例として紹介します。

【問】三和庁舎 環境政策課 ☎76-1511

## ■地球温暖化対策実行計画 (事務事業編)を運用中

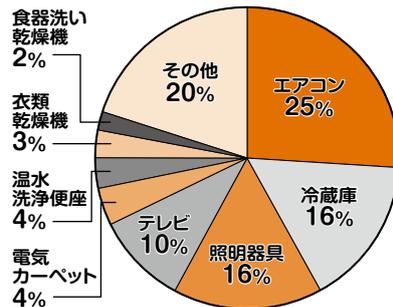
市では、職員および市の事務事業に参与するその他の関係者が地球温暖化問題の重要性を認識し、地球温暖化対策の推進を図るため、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき「古河市地球温暖化対策実行計画」を平成20年度に策定しました。計画では平成20年度を基準年度として平成25年度までに-6%の温室効果ガス削減を目指し、年度ごとに市の事務事業から排出される温室効果ガスを算定しています。計画の基準年である平成20年度の温室効果ガス排出量は11,098,971kg、翌21年度は20年度比-1.0%の10,986,296kgと、排出量を削減することができました。また、平成22年度の上半期における排出量は5,259,557kgでした。今後も引き続き、職員一人ひとりが昼間の消灯や空調の適正利用などの省エネ活動に取り組み、温暖化防

止に向けた温室効果ガスの削減に努めていきます。

## ■みんなで省エネ！ 私も家庭も事業所も

県と県内の市町村、茨城県地球温暖化防止活動推進センター、環境保全茨城県民会議、大好きいばらき県民会議では、日常生活の中でできる簡単な冬の省エネ活動を呼びかけています。下のグラフにあるように、家庭の電気の約7割はエアコン、冷蔵庫、照明器具、テレビの4つに使われていて、その

うち一番電気を消費するものはエアコンとなっています。暖房使用時の電気使用量を抑えるためにも、室温は20℃以下になるように、暖房に頼りすぎず温かい服装で「ウォームビズ」に取り組んでいきましょう！また、照明器具を省エネタイプに取り替えることで電気代も節約できます。白熱電球を「電球型蛍光灯またはLED電球」に取り替えましょう！下に省エネレッスンの例を掲載しました。これらを参考に今年の冬も省エネ生活に挑戦していきましょう！



平成16年度電力需給の概要  
(平成15年度推定実績)

### 【省エネレッスン】

#### 冬の暖房時の室温は20℃を目安に。

年間で電気 53.08 kWh の省エネ 約 1,170 円の節約  
 ■ 原油換算 13.38L ● CO<sub>2</sub>削減量 19.8kg  
 外気温度6℃の時、エアコン(2.2kW)の暖房設定温度を21℃から20℃にした場合(使用時間:9時間/日)

#### 暖房は必要ときだけつける。

年間で電気 40.73 kWh の省エネ 約 900 円の節約  
 ■ 原油換算 10.26L ● CO<sub>2</sub>削減量 15.2kg  
 暖房を1日1時間短縮した場合(設定温度:20℃)

## ■朝型生活にチャレンジ！ してCO<sub>2</sub>削減

朝から活動して夜には休むという自然のリズムを心掛けることは、一日を有意義にそして健康的に過ごすことができます。また、夜遅くまで使用していた、エアコン、テレビ、照明などの使用時間を減らすことができ、自分にも地球にとってもプラスの習慣です。

朝は早く起きて、夜は早く寝るといった1日を送ることで不必要な夜の電力消費を抑えるとともに、健全で充実した新しいライフスタイルの実現を目指しましょう。

### ○朝型生活の始め方 (楽しみ方)

#### ①朝目覚めたら、朝日浴をしながら外の空気を吸う

伸びをしながらフレッシュな朝の空気を思いっきり吸い込めばパッチリお目覚め！朝の日光浴は15分が効果的。朝日浴がてら、散歩もおすすめ！



#### ②朝ごはんを食べる

眠っている間に下がっている体温を上げて、脳にも栄養素を

運んでくれるので、1日の始まりにスタートダッシュするエネルギーになります。



#### ③音楽やラジオで目覚める

朝のモチベーションをあげるためには、好きな音楽や、ラジオ番組をタイマーセットしておく、つらくなりがちな朝も、幸せな気持ちで目覚められます。



### ○朝時間リストを作ってみよう！

朝時間を有効活用してみたいけど、とっかかりがつかめなかったり、少し早く目覚めてしまった朝も「もう少し、寝られるから寝てしまおう…」と、なかなか朝型生活へのきっかけがつかれない人も多いかと思います。そんなときは、いつでも思い立ったときに朝時間の有効活用ができるよう「朝時間リスト」を作ってみてください！

(例)『5分間でできること』

- お花の水やり
- 床の清掃
- 朝の軽い散歩
- お気に入りの短編小説を1章分読む など

### ○朝チャレのCO<sub>2</sub>削減効果

#### ①1日1時間、夜の電気使用を減らした場合のCO<sub>2</sub>削減効果 (1世帯当たり・年間)

- ・照明のCO<sub>2</sub>排出量…家庭：約470kg/CO<sub>2</sub>
- ・家庭での平均照明点灯時間…5.5時間

《計算式》470kg/CO<sub>2</sub> ÷ 5.5時間 = 約85kg/CO<sub>2</sub>

#### ②家庭のエアコンの使用時間を1日1時間短縮した場合(年間)

- ・暖房を1日1時間短縮した場合：CO<sub>2</sub>削減量…17.1kg/CO<sub>2</sub>
- ・世帯ごとのエアコン平均保有数…約2.3台

《計算式》17.1kg/CO<sub>2</sub> × 2.3台 = 約40kg/CO<sub>2</sub>





# 古河市水道事業の業務状況をお知らせします

水道事業経営は、独立採算制が基本原則です。多くの市民の皆さんにおいしい水を安心して使用してもらえるように「水道管など施設の整備」、「水質の管理」、「漏水の修理」など、さまざまな業務を行っています。そこで今回は、平成22年度の上半期(平成22年4月1日から9月30日)の業務状況をお知らせします。

【問】 三和庁舎 水道課 ☎76-1511

## 上半期(平成22年4月1日から9月30日)の業務量

区分	単位	H22年度上半期	H21年度上半期	増減	比率(%)
給水戸数	戸	51,338	51,963	△625	98.8
給水人口	人	138,515	139,066	△551	99.6
給水普及率	%	92.3	92.2	0.1	100.1
総給水量	m <sup>3</sup>	8,127,982	8,098,050	29,932	100.4
1日平均給水量	m <sup>3</sup>	44,415	44,252	163	100.4
1人1日平均給水量	ℓ	321	318	3	100.9

上半期の総給水量は、前年同期に比べ0.4%の増加となりました。引き続き市民の皆さんへ安全で安定した水道水の供給を行っていきます。

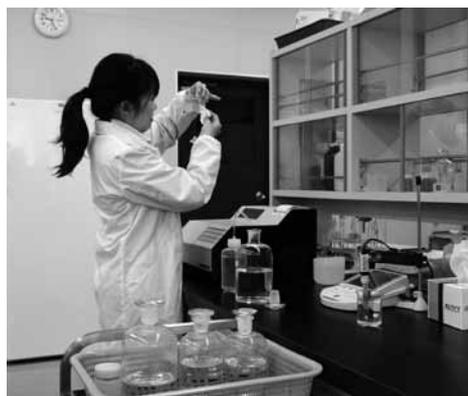


きれいな古河市の水道水

## 上半期(平成22年4月1日から9月30日)の事業収支

### 収益的収入および支出【水を作り、送り届けるお金】

今期以降についても引き続きコスト削減を図り、一層の企業努力をしていきます。また、未給水世帯への加入を促進することにより、収益の確保に努めていきます。



毎日の水質検査はかせません

区 分		当初予算額	執行額累計	執行率(%)
収入	営業収益	22億8162万円	10億6675万円	46.7
	(うち給水収益)	(21億2805万円)	(10億4661万円)	(49.2)
	営業外収益	503万円	79万円	15.7
	計	22億8665万円	10億6754万円	46.7
支出	営業費用	19億2808万円	3億6121万円	18.7
	営業外費用	2億3303万円	1億1364万円	48.8
	特別損失	1585万円	0	0
	予備費	1000万円	0	0
	計	21億8696万円	4億7485万円	21.7
収支差引		9969万円	5億9269万円	

### 資本的収入および支出【水を送り届ける施設を作るお金】

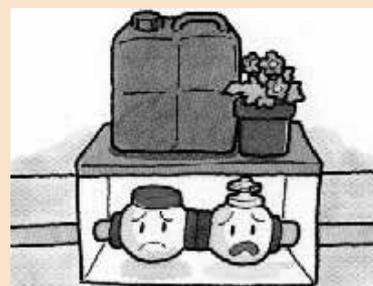
事業費の一部を国等からの借入金で賄い、思川浄水場の改良事業、三和浄水場改良事業、配水管布設・布設替事業等を行います。

区 分		当初予算額	執行額累計	執行率(%)
収入	資本的収入	8億2059万円	144万円	0.2
	(うち企業債)	(7億4000万円)	(0)	(0.0)
	計	8億2059万円	144万円	0.2
支出	建設改良費	12億2504万円	4億7128万円	38.5
	企業債償還金	4億6883万円	2億3308万円	49.7
	計	16億9387万円	7億 436万円	41.6
収支差引		△8億7328万円	△7億 292万円	
補填財源		8億7328万円	7億 292万円	

#### 【検針にご協力を】

水道メータの検針(毎月20日から月末まで)に訪問したとき、障害物(植木鉢・ポリタンクなど)があると、メータの確認ができないことがあります。

皆様のご理解とご協力をお願いします。



# 児童生徒の学力向上活動を支援しています



古河第七小学校では毎週木曜日の午後4時から算数を中心とした1時間30分程度の放課後学習を実施しています

市では、児童生徒の学力向上のために、市内の小中学校32校全校で実施している学校づくりチャレンジ事業の活動を積極的に支援しています。

また、社会的スキルや生活習慣の研究も導入し、一定の効果が上がってきました。

【問】古河庁舎 指導課  
☎22-5111

## ■学校づくりチャレンジ事業

【市内小中学校32校の主な取り組み内容】

<小学校>

- 長期休業中や授業中に学習サポーターを活用しました。
- ドリル教材を充実させて基礎学力の定着を図りました。
- 図書や読み聞かせを充実させました。
- 実験や計算用具により理数教育の充実を図りました。

<中学校>

- 長期休業中に「セミナー」を実施し、教科の補習を行いました。
- 小テストやドリルを充実させ、基礎学力の定着を図りました。
- 学習の手引きの作成や教員の授業力向上の研修を行いました。

## ■社会的スキル学習

「社会的スキル」とは、日常生活の中の出来事に対して、自分自身で解決するための知識や技術のことです。

昨年度より、児童生徒が自分の思いを表現する、積極的にコミュニケーションを図るなどを目的とした「社会的スキル学習」を推進しています。この取り組みにより、児童生徒のコミュニケーション能力の向上、好ましい人間関係作り、自己肯定感の高揚などの効果が期待できます。

今年度は9校で延べ160時間の授業を行う予定です。

### ●下大野小学校

学校全体で社会的スキルや生活習慣を身に付けることが学力向上につながる研究を行っています。社会的スキルや生活習慣が、学力向上に効果があること

が実証されつつあります。



### ●三和中学校

「聞く」「話す」ことを中心としたコミュニケーションスキルの学習を行いました。「聞くときは体を向けることやうなづくことが大切だということを学んだ。」など、生徒たちも大切な知識を身に付けました。



# 広報古河などへの有料広告掲載

～皆さんに支えられています～

市では、自主財源の確保や産業の振興を目的に「有料広告掲載事業」に取り組んでいます。その事業内容と効果についてお知らせします。  
 ※市公式ホームページにて有料広告の詳細が確認できます。

【問】 総和庁舎(本庁)広報室 ☎92-3111



## ■広告を掲載できる種類は?

広報古河、公用車、封筒、市公式ホームページの4種類です。種類ごとに広告の位置や規格、掲載料を定めていて、それぞれ異なる特性をもっていますので、広告主が、どのような人を対象に、どのように情報を提供したいのか、その希望に応じた掲載をすることができます。

## ■広報古河への広告掲載

毎月発行している「広報古河」は、市の施策や事業についての情報をはじめ、各公共機関の情報や地域活動を市民の皆さんにお知らせするものです。

発行日から数日以内に市内のほぼ全域に配布されるその特性を生かせば、地域の産業活動を効率的にPRする広告手段になります。しかし、広告を掲載することで、肝心の記事がおろそかになっては困りますので、編集に工夫を凝らしながら、情報量の確保に努めます。

## ■公共性を守るために

無防備に広告を掲載すると、その内容によっては、市としての公共性を損なうことになりかねません。そこで次のように内容に制限を設けるとともに、掲載に際しては、審査会において慎重に審査をしています。

- ・ 広告媒体の公共性や品位を損なうおそれのないもの
- ・ 市内や周辺地域の商工業の発

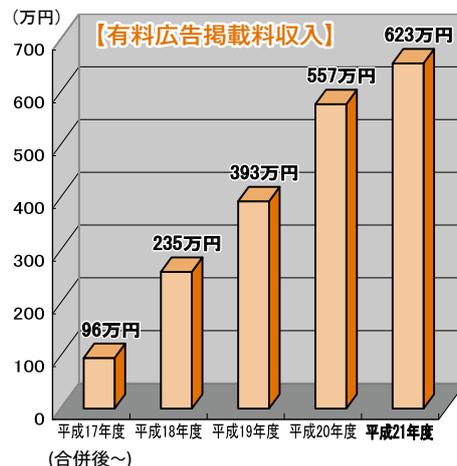
展に資するもの

- ・ 風俗営業等の規制および業務の適正化等に関する法律第2条に掲げる営業に該当しないもの
- ・ 政治活動、宗教活動、意見広告や個人的宣伝に係るものでないもの
- ・ 公の秩序や善良な風俗に反しないもの
- ・ その他公益上特に支障がないと認められるもの

## 印刷製本費の約23%

平成21年度に掲載した有料広告は、過去最高の申し込みがあり、623万円の広告収入がありました。

これは、広報紙の印刷製本費の約23%に相当します。





伝統的な三和祇園ばやしの演奏



天候にも恵まれ会場内は大盛況



物産展による販売



かわいい太鼓の演奏

### 三和産業祭・さんさんまつり

第4回三和産業祭・さんさんまつりが10月23日、三和健康ふれあいスポーツセンターで行われました。「三和産業祭」は農業、商工業など地域産業の発展に寄与することが目的で始まり、各種の模擬店では三和の逸品が数多く販売され、イベントと併せてたくさんの人でにぎわっていました。また、「さんさんまつり」は郷土に伝わる伝統文化の素晴らしさを後世に伝えていくため、郷土芸能団体との連携を図りながら、市民と一体となった祭りとなっています。今年は関東では珍しい「手筒花火」も行われ、火の粉が舞い上がる風景は壮大でした。



迫力満点の手筒花火



色とりどりの菊花



菊おすめがおもてなし



きれいな五重の塔の前で記念撮影

### 菊まつり

第5回古河菊まつりが、10月27日～11月23日までネーブルパークで行われました。菊まつりは県内でも有数の規模を誇り、大輪の花を咲かせる「盆養」や、色とりどりの菊花が、所狭しと咲き誇る「総合花壇」などもあります。また、愛好家たちが丹精込めて育てた約1,200鉢のさまざまな菊花が趣向を凝らして展示してあり、会場を訪れた人を魅了していました。

## よかんべまつり

11月6日、7日と第11回よかんべまつりが古河総合公園を会場に開催されました。ステージでは、6日にはご当地ヒーローの登場やフラダンスショー、7日には子どもに大人気のアンパンマンショーなど、盛りだくさんの内容に会場を訪れた人たちは大喜び。

また、テントフェアにおいては、会場内に100を超える数のお店や教室など出展して連日大盛況。さらには、姉妹都市である大野市、さくら市、真室川町の特産品を販売。見てよし、食べてよし、参加してよしの3拍子が揃った祭りは、2日間ともたくさんの人でにぎわいました。



テントのお店は大忙し



ぴったり息のあったフラダンスショー



ご当地ヒーロー「イバライガーブラック」参上(左)



子どもたちに大人気のアンパンマンショー



三和地区・玉入れ合戦



古河地区・一致協力リレー



総和地区・大玉ころがし



三和地区・障害物リレー

## 市民運動会

スポーツの秋にふさわしい季節、市民運動会が3地区でそれぞれ開催されました。三和地区市民運動会は10月11日に三和中学校で、古河地区市民運動会は10月17日に古河第一中学校で、総和地区市民運動会は11月3日に中央運動公園陸上競技場で行われました。各地区とも自治会・行政区一体となった多数の競技に、参加した皆さんは、さわやかな汗を流し楽しみました。

## 自然をみんなで守ろう 利根川クリーン作戦

11月6日、「2010 利根川クリーン作戦」が行われました。これは、利根川堤防と女沼川・磯川のごみを拾う清掃活動です。当日は早朝から、地元企業や行政区、高校生ボランティアなど379人が参加し、A、B、Cの3班に分かれてごみを拾いました。集まったごみは、空き缶やペットボトル、紙くずなど510kg。皆さんの協力のおかげで利根川周辺がとてもきれいになりました。これからも協力して河川の美しい自然環境を守っていきましょう。



▲天候に恵まれた中、みんなで協力してたくさんのごみを拾いました

## 中学生と茨城交響楽 団が共演

11月6日、三和健康ふれあいスポーツセンターで「古河市民芸術鑑賞の集い」が行われました。23回目を数える今回はゲストに歌手の芹洋子さんを招き、茨城交響楽団と地元の三和中、三和北中、三和東中の吹奏楽部の生徒約90人が共演した豪華なコンサート。

交響楽団との初めての共演に中学生は緊張しながらも軽快な演奏を披露。芹さんも会場と一緒に歌う曲も盛り込んで、会場に集まった人たちは世代を超えて音楽を楽しみました。



▲豪華な共演で中学生は見事な演奏を披露しました

## 新たな発見! 不思議 な体験! 科学の祭典

11月6日、中央運動公園総合体育館を会場に第13回青少年のための科学の祭典古河大会が行われました。

会場内外には、市内小中学校、高校、大学や企業、さらには街の科学者たちが出展した多くのブースが設けられ、来場した人に科学の楽しさをユニークな手法で伝えていました。また、市内の小学生が作成した手作りロケットが空高く打ち上げられるなど、「新たな発見」「不思議な体験」がたくさんできた祭典となりました。



▲ロケットの打ち上げが無事成功すると大きな歓声が上がっていました

## 全国大会で活躍!

【第23回全国健康福祉祭いしかわ大会(ねんりんピック石川2010)】10月9日~12日

【種目】 グラウンドゴルフ

村上克美さん

【種目】 ソフトバレーボール

FFCクラブ

【種目】 マレットゴルフ

茨城県マレットゴルフクラブ

【第58回全日本吹奏楽コンクール】10月24日

古河シティウインドオーケストラは、愛媛県県民文化会館(ひめぎんホール)で行われた、第58回全日本吹奏楽コンクール(一般・職場の部)に関東代表として出場し、見事銀賞を受賞しました。



▲全国大会でも見事な演奏を披露しました

## 芸術と文化の秋！ 「市民文化祭」

9月12日から約3カ月間にわたって開催された古河市民文化祭。芸術・文化活動をしている皆さんの発表の場として期間中に開催される催しは40以上。各会場を訪れた人たちは、素晴らしい作品を鑑賞しながら文化の秋を楽しんでいました。



▲総和地区の総合展。絵画・書道、写真、華道などの作品が展示されました



▲古河地区の小中学校絵画書道展。児童生徒の力強い作品が展示されました



▲三和地区の総合展。盆栽や俳句、短歌など8科目の作品が展示されました

## 日々新たなり

古河市長 白戸伸久

### ～ 中高一貫校 ～

2013年4月、茨城県では2校目、県西地区では初となる県立中高一貫校が総和高校の校地に新設されます。先日、説明会が開催され、開校時に1期生となる小学校4年生の児童や保護者、教育関係者等が1,000人以上参加したということで、同校への関心の高さを、伺い知ることができました。

中高一貫校の誘致は、私が合併以来、特に力を入れていた事業で、橋本知事にお会いする度に、誘致への働きかけを続けてまいりました。ようやく念願がかない、茨城県の県立高校第二次再編整備計画に位置づけられ、この度、開校のための説明会の運びとなりました。

学校の概要については、新設の中高一貫校は、6年一貫の中等教育学校で、男女各60人の1学年は3学級。校名は、(仮称)古河中等教育学校等の新しい校名を検討しているとのことです。

公立の中高一貫校には、3つのタイプがあります。1つ目が、中等教育6年間を一体のものとして教育を施す学校で、中学校に相当する3年間を前期過程、高等学校に相

当する3年間を後期過程と呼び、中学校と高等学校の重複している内容を整理、精選して教育でき、中学校で一部高等学校の内容を先取りすることができるといったメリットがあります。2つ目は、併設型中高一貫校で、3つ目は連携型中高一貫校です。

私は、1つ目の一体型の中高一貫校を要望いたしました。一体型が中高一貫校の本来あるべき形であり、先行して開校し実績をあげているつくば市の並木中等教育学校が同タイプであるからです。

この度の中高一貫校の古河市への誘致の最大の要因としては、合併による県西の雄都、新古河市の誕生を挙げるができるでしょう。中高一貫校の誘致は、合併効果が教育面でも現れていることが実感できる出来事でした。



# My Hobby

## 魅力がいっぱい「ベンチプレス」

福田未来さん (谷貝)

ぜい肉のない締まった体。そんな体にいつまでもあこがれますが、どうしたらそんな体を手に入れることができるのか？ それは地道なトレーニングの繰り返しだと言われています。ベンチプレスも同じで基礎練習の積み重ねで階段を一步一步と上がります。今回は「一生懸命に打ち込むのがモットー」という福田さんにベンチプレスの魅力について話を伺いました。

### ベンチプレスの出会い

父親から知り合いが近くにトレーニングジムを開くから一緒に行かないか？ と誘われたのが今年の6月。福田さんは、チャレンジすることが大好き。いつの間にか、女性も活躍されている話を聞いているうちに、「ベンチプレス」をやってみよう！ と。でも内緒ですけど本当はダイエットが目的でした。わずか半年でダイエットの目標が無事かなった今は、選手にならないか？ との強い誘いもあり、大会出場を目指し、週2回かささずジムでトレーニングに励みます。

▶思いつき力をこめて一気に持ち上げます。この瞬間の緊張感もたまらないそうです



▲「ジムでは世代の違う人たちみんなに支えられて本当に楽しいです」と話す福田さん

### 何事にもチャレンジ

現在大学1年生の福田さんは、もともと好奇心旺盛で、なんと高校時代をカナダで過ごし、卒業後帰国し、日本の大学に通っています。と同時に、ランニングやジムでのベンチプレスを含めたトレーニングが生活の一部になってリズムを整えます。

近い将来には、必ず海外の大会に出場し、英語を駆使して異国の人たちと積極的にコミュニケーションを図り、大きく輪を広げたいそうです。

### どちらも魅力です

ベンチプレスには、上げられたときには、達成感からくる感動、上げられなかったときには、くやしさがあり、どちらも大きな魅力なのだそうです。現在、若い世代の女性の競技人口は少ないですが、体重別の世界大会まで行われていて、まずは近々行われる大会へ出場が大きな目標。「自分ができると思った重さが上げられないもどかしさを感じながら、努力を続けますよ」と笑顔の福田さんは「ベンチプレスにかかわると思わなかった自分が……人生って何が起こるか本当にわかりませんね。皆さん一緒にやりませんか？」と最後まで明るく元気に話してくれました。

季節が移ろううちに年の瀬を迎え、ネーブルパークもすっかり冬景色となり、春から秋までの騒がしさがまるで夢のような今日このごろとなりました。今年もお子さんからお年寄りまで多くの人が来園され、さまざまな楽しみ方でたくさんの思い出を作られたかと思います。

今回は、そんなネーブルパークにたたずむ、公共の宿泊施設「研修センター平成館」を紹介します。

春には桜、甘い香り漂う<sup>ふじ</sup>藤と花菖蒲、初夏には数々の紫陽花と黄色の原色に圧倒されるキスゲの群生、秋は紅葉、冬は落葉のじゅうたん等々、遠出をしなくても四季を間近に感じることができ、ネーブルパーク内にある宿泊研修施設がこの平成館です。同じ宿泊施設でもキャビンは皆さんも知っているかと思いますが、平成館については知らないと話がされるのがまだまだあります。

そこで改めまして平成館について案内します。



▲「研修センター平成館」の外観

ご利用は1人から最大94人まで、市内市外の人を問わずどなたでもご利用になれます。部屋は和室および洋室、ほかに会議室、レストラン、大浴場などを完備しています。

また、冬のお楽しみ企画として例年好評いただいている「期間限定宿泊パックつどい」を今年も実施します(詳細は下記までお問い合わせください)。今年新たに「鍋料理(養命鍋・寄せ鍋)」を追加注文できるようになりました。この「つどい」は大変お得な企画となっていますので、この機会にぜひご利用ください。皆さまのお越しを心よりお待ちしております。

【問】ネーブルパーク研修センター「平成館」  
☎92-9111

## 文化財の窓

## 古河公方と山川氏

さまざまところで触れられているので、すでにご承知のことと思いますが、今年古河公方足利氏が古河に本拠を移してから555年という節目の年に当たります。そこで、今回はその記念すべき年の最後に、古河公方から出された興味深い古文書をご紹介します。

それは、古河公方4代・足利晴氏から山川氏に出された書状です。山川氏は、結城氏から分家・独立した豪族で、現在の結城市南部から古河市東部にかけての地域を領地としていました。

古河公方から山川氏に出された文書は、現在4通確認されており、今回紹介するのはそのうちの1通です。書状の内容は、古河公方に仕えていた医師として著名な田代(江春庵)三喜齋が持っていた領地と山川氏の所領との境界をめぐる、双方で何らかの問題が起きたため、古河公方足利晴氏が、それを解決しようと山川氏に働きかけたものです。

この書状では、どの地域が問題になったのかについての具体的な場所は明記されていませんが、田代三喜齋はこの当時仁連と沼森(現在の八千代町沼森)に所領を与えられていました。一方の山川氏は前述したように、古河市東部の恩名や尾崎を本領としていました。これらの地域は、飯沼(当時は長大な沼地だった)を隔てて仁連と隣り合っていますから、この書状の中で争点となっていたのはまさにこの地域であったと推定され、その問題解決を古河公方が山川氏に働きかけたと考えられます。

この書状は、年号が記載されていないため、残念ながら具体的な時期はわかりませんが、古河公方足利氏や山川氏の動向の一端をかいま見ることができ、それに医師の田代三喜齋がからむという、たいへん面白い資料の一つです。

(文化財保護係)



▲足利晴氏書状

## 古河歴史博物館と鷹見泉石記念館

### 臨時休館のお知らせ

ご迷惑をおかけしますが、古河歴史博物館は平成23年2月28日まで、鷹見泉石記念館は平成23年1月5日から3月15日まで、それぞれに臨時休館します。

歴史博物館は、平成2年11月開館以来、20年の歳月を経過し、ずいぶん施設の老朽化が目立つようになりました。文化財の公開や保存環境として最良の空間でありつづけるために、歴史博物館では、展示室の空調設備交換工事と展示室LED照明器具交換工事を実施します。

あわせて、鷹見泉石記念館のかやぶき屋根の損傷の広がりを防ぐため、かやぶき屋根の一部改良工事を行うことになりました。

資料に直接影響を及ぼす展示室内の環境や老朽化した建物の整備は、次代に継承すべきわたくしたちの共有財産である文化財を守るために、博物館が優先的に取り組まねばならない重要な責務です。

長期にわたる古河市の文化財の公開停止により大変ご迷惑をおかけしますが、工事中の安全を確保するため、利用者にとってより良い展示環境を提供するため、そして何より文化財に最良の空間を確保するために、休館とさせていただきます。ご理解とご協力をお願いします。

なお、奥原晴湖画室は、通常通り開館します。



▲古河歴史博物館外観

### 臨時休館の期間

- 歴史博物館 本館  
平成23年2月28日(月)まで
  - 鷹見泉石記念館  
平成23年1月5日(水)から  
3月15日(火)
  - 奥原晴湖画室  
通常通り開館
- 【問】  
古河歴史博物館 ☎22-5211

## 図書館おすすめの図書

### ◇一般書

- ・あなたは常識に洗脳されている

苦米地 英人 著



携帯電話は便利だ。学校教育は必要だ。運動は健康にいい…。これらに“YES”とってしまった人は、おそらく洗脳されている。「常識」という名を借りて、私たちを洗脳している問題について、少し厳しい視点で検証する。

出版社…大和書房

分類…304ト

### ◇児童書

- ・なにわのでっちこまめどん どろぼうといつやの巻

たごもりのりこ 絵

「こらーっ、どろぼうーっ！」でっちのこまめどんは、その声を聞いて慌てて表に飛び出した。でも、町中みんなで追いかけたおかげで、誰がどろぼうかわからなくなってしまうて…。

出版社…俊成出版社

分類…Eタ

(三和図書館)





みんなで健康 カルシウムたっぷり **食育レシピ**  
 “簡単” ワカサギのチーズフライ



(1人分)  
 エネルギー=221kcal  
 たんぱく質=13.7g  
 脂質=13.2g  
 カルシウム=381mg  
 食塩相当量=0.5g

材料(4人分)

ワカサギ280g、塩・こしょう少々、小麦粉適量、卵適量、パン粉2/3カップ、粉チーズ大さじ2、揚げ油適量、キャベツ120g、プチトマト4個、レモン1/2個

作り方

①ワカサギは水洗いし、水気をきって塩・こしょうをふる。②パン粉に粉チーズを混ぜる。③①に小麦粉、溶き卵、②の順に衣をつけ、170度の揚げ油でからりとあげる。④キャベツは千切りにする。器に④と③を盛り合わせ、プチトマト、輪切りのレモンを添える。(食生活改善推進協議会)

アイドル登場

「しあわせ」

茂呂真菜美ちゃん・拓真くん

(9歳3カ月・3歳6カ月 駒羽根)



はじめましてこんにちは。毎日コツコツ頑張りやさんの真菜美ちゃんと食欲旺盛・力持ちの拓真くんです。たくさんの人に支えられ、毎日ニコニコたくさん笑い、たくさんのことを学び大きく成長しています。これからも元気モリモリ思いやりのある子に育ててほしいです。

(父：敦史さん・母：佑佳さん)

古河風土記

カビタリモチ

河童と冬の水難よけ

20年以上も前ですが、新潟県のあるムラに、もらい風呂をしながら逗留し、土地の古老たちに昔の話を聞く機会がありました。「○○さんちと△△さんちのあいだに細い沢があんだろ。あそこには夜んなつと、アズキアライが小豆洗ってんだよな。」とか「□□さんちの母屋の裏にタメ溜池があんだろ。あのタメにはスジンコ(河童)がいて、子どもが尻子玉抜かれたって……」とか。扉をあければ、すぐそこにも妖怪がいそうな話ばかりでした。なかでも驚いたのは、よく夜たずねては五右衛門風呂をお借りしていた、□□さんちのタメの話。河童に尻子玉を抜かれると人間はふぬけになってしまうのだそうです。



▲錦町・Sさんのお宅のカビタリモチ (右端)

ところで、10年ほど前に、上根のIさんの家を訪ねたとき、カビタリモチというものについてお話を伺いました。カビの生えた餅? いえいえ違います。11月30日の晩についた丸い餅のことをいいます。この餅を、あるいはカワピタシモチと読んで、翌12月1日に汁粉にして食べたといいます。その際、「川へ行って尻ひやしてこないとお食べられない」といったのだと。聞いているだけでも、お尻が持ち上がった

しまいそうな冷たさを想像してしまいます。その上、家じゅうの神様をまつている場所にこれをお供えしてまわると……。なんだかただの餅のようですが、これだけこだわって食べるのだから、きつと意味のあるものなのでしょう。おそらく「カワッピタシ」「川へ行って」とあるように、川と関係がある行事のようです。少々視野を広げてみると、茨城県内のある地域では、河童に餅をあげるのだといって、12月1日に川へ餅を投げてくるのだといえます。あるところでは、この日、人に見られないように川へ行って、尻を水につけてくると、河童に襲われないのだと。また、地域によっては、水の神様

のお祭りとして、餅を川に流してくるといふところもあり、水の霊や、河童から水難にあわぬよう餅でもって祈願するのだともいいます。いつものことかもしれませんが、こんな文章を書くためにボーッと思索をしていると、尻子玉を抜かれたようにも見られがちです。それはそれとして、なにを言われようとも私の場合「尻の河童」とでもしておきましょう。

古河歴史博物館学芸員 立石尚之

平成22年12月1日発行 ●発行所/〒306-0261 茨城県古河市下大野254-8 古河市役所 古河GO (92) 3-1-1 ●編集/千原章 ●ホームページ/rip://rip/www.city.ibaraki-kogai.jp/